

工学部・工学研究科自己点検評価書

| 項目 | 取組内容（成果、課題など） | 根拠資料 | |
|---|--|--|------------------------------------|
| <p>基準4 学生の受入</p> <p>4-1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、それに沿って、適切な学生の受入が実施されていること。</p> <p>4-2 実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっていること。</p> | <p>・入学者選抜の改善に繋がった取組</p> <p>前期受験者の増加及び入学者の英語能力のアップを目的に平成30年度入試から一般入試の配点変更を行った。その結果、志願者は前年度に比べ562人増加した。なお、平成30年度入試の入学者数は532人であり、定員超過率は1.04倍である。</p> <p>博士課程（平成30年度入試）から留学生及び社会人の第2次入学試験時において、入学時期を4月又は10月（秋季入学）のいずれから選択できるように変更した。平成30年4月入学者数は23名で、10月入学選択者は1名である。</p> <p>・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の明示および受入方法との関係</p> <p>入学者受入方針を工学部ホームページ及び学部紹介用プレゼンテーション資料に組み込んでいる。</p> | <p>入学者選抜実施状況表【資料1】</p> <p>工学部HP【資料2】 学部紹介用プレゼンテーション資料【資料3】</p> | <p>工学部・工研究科の取り組みを示すポンチ絵（公表用1枚）</p> |
| <p>基準5 教育内容及び方法</p> <p>5-2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。（学士課程）</p> <p>5-5 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等（研究・論文指導を含む。）が整備されていること。（大学院課程）</p> | <p>・単位の実質化を図るための取組</p> <p>グローバル化に向けた短期海外留学制度を継続（平成29年度、短期留学29名）し、体制整備・経済的支援（JASSO、工学部後援会、工業倶楽部）等の留学サポートを行うことで推進した。また帰国後インターンシップ報告会で活動内容を確認・評価した。</p> <p>「機械工学創造演習・知能機械工学演習Ⅲ（機械工学科3年次後期必修）」では、岐阜県産学官連携人材育成・定着プロジェクトの一環として、企業での実習を行い、受け入れ先担当者および教員により個々の学生に対して自習内容の確認及び評価を行った。（受講生約130人／年）</p> <p>「技術表現法（学部共通2年次前期必修）」ではガイダンスで目的、進め方、最終提出成果等を具体的に示した。そして毎講義で数時間程度の課題を科した。最終講義では学年発表会で学生相互および教員・学外講師による評価を行った。（受講生約510人／年）</p> <p>・授業の方法及び内容の明示状況</p> <p>授業概要や特色、学生のアクティブ・ラーニングを促す取組、到達目標も含め、Webシラバスに明示している（Webシラバス登録率。学部：99.5%，博士：70.5%）</p> | <p>短期留学報告会ポスター【資料4】</p> <p>活性化経費報告書【資料5】</p> <p>Webシラバス【資料6】</p> | |

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>基準6 学習成果</p> <p>6-1 教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学習成果が上がっていること。</p> <p>6-2 卒業（修了）後の進路状況等から判断して、学習成果が上がっていること。</p> | <p>・学習成果の向上に繋がった取組</p> <p>授業評価アンケートを実施し、学生の学習時間、学習態度を把握し、その集計結果をGグループで開示した。また改善点をリフレクションペーパーで示した。（H29年度、89件）</p> <p>卒業・修了者のアンケート（置き手紙）から、在学時に感じた学生の意見・提案を把握し、質の改善・向上を図っている。</p> <p>グローバル化を促進するために、海外での国際会議発表者に経済的補助を行った。（H29年度、22名）</p> <p>・標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況（過去5年間の推移等）</p> <p>学部の標準修業年限内の卒業率は約91%、「標準修業年限×1.5」年内卒業率は約8%。</p> <p>博士前期課程の標準修業年限内の修了率は99%、「標準修業年限×1.5」年内修了率は1%。</p> <p>博士後期課程の標準修業年限内の修了率は75%、「標準修業年限×1.5」年内修了率は17%。</p> <p>【資格取得等の状況】</p> <p>高等学校教諭一種免許（工業，数学）について工業16名，数学9名が取得。 高等学校教諭専修免許（工業）について3名が取得している。</p> <p>・卒業生（修了）、就職先等の意見聴取により、学習成果が得られていることの確認状況</p> <p>卒業生を対象にアンケートを実施し、卒業生の学習成果を調査した。その結果として卒業生・企業ともコミュニケーション力の必要性が高かった。この結果を教育現場へ反映するように検討している。</p> | <p>授業評価アンケート結果【資料7】</p> <p>リフレクションペーパー結果【資料8】</p> <p>置き手紙【資料9】</p> | |
| <p>基準8 教育の内部質保証システム</p> <p>8-1 【重点評価項目】教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための体制が整備され、機能していること。</p> <p>8-2 教員、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、教育の質の改善・向上を図る</p> | <p>・教育の質の改善に繋がる取組</p> <p>リフレクションペーパーを教務委員会で開示し、全教員が授業改善の工夫を共有した。</p> <p>以下のとおり、FDを開催した。</p> <p>平成29年6月21日 高等学校一種免許状（工業）の教職課程への対応について 教職員73名参加</p> <p>平成29年12月20日 高大接続入試の設計から実施まで 教職員83名参加</p> | <p>リフレクションペーパー結果【資料8】</p> <p>FD資料【資料10】</p> | |

| | | | |
|-------------------------------|---|--|--|
| <p>ための取組が適切に行われ、機能していること。</p> | <p>平成 30 年 1 月 17 日 岐阜大学自殺予防FD～現状と対応策～ 教職員 45 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者（学生、卒業生（修了生）、卒業生（修了生）の主な雇用者等）から教育の内部質保証についての意見を聴取する仕組みの構築状況 卒業生を対象にアンケートを実施し、卒業生の学習成果を調査した。今後も継続できる体制を検討中。 ・自己点検・評価の結果を踏まえ、指摘事項への対応を検討、立案、提案する組織の設置状況 学部内の教務委員会および、各学科の教育検討委員会で自己点検結果への対応を行っている。 組織の発想の創造性・革新性、変化への柔軟性を高めることを目的として、「岐阜大学工学部多様な人材参画推進室」を平成 29 年 10 月 1 日に設置した。 ・自己点検・評価の結果を踏まえ、指摘事項に対する対応計画が策定され、その取組が成果をあげていること、または、取組が進捗されていることの確認状況 | <p>置き手紙【資料 9】</p> <p>岐阜大学工学部多様な人材参画推進室要項【資料 1 1】</p> | |
|-------------------------------|---|--|--|

平成29年度・工学部・工学研究科における教育改革(基準4, 5, 6, 8関係)

実施体制

学部: 教務委員会

学科・コース: 教育検討委員会(教室会議)

基準4 学生受入

◎入試実施方法の改善

一般入試の配点変更 → 志願者1.28倍に増加

◎入学者数(平成30年度):

学部 532人(定員510人). 超過率1.04倍
博士課程 入学時期を4月・10月選択へ. 4月入学23人. 秋入学選択1名.

実施予定

◎アドミッションポリシー: HP, 紹介パンフレット等で明示.

基準6 学習成果

◎学習成果向上の取り組み

・授業評価アンケート, 卒業・修了者アンケート(置き手紙)の実施と公開, 対応. (リフレクションペーパー89件)

◎修業年限内卒業(修了)率

学部91%, 修士99%, 博士75%

◎卒業(修了)生, 就職先企業へのアンケート実施, 調査. 教育への反映を検討. (コミュニケーション力向上, など)

基準5 教育内容及び方法

◎単位の実質化

・グローバル化のための短期海外留学(29名) 報告会で活動内容を確認・評価.

・【事例1】「機械工学創造演習Ⅲ」企業での実習. 受入企業担当者・教員で個別に評価. (必修科目, 約130名受講)

・【事例2】「技術表現法」

毎講義で数時間程度の課題. 最後に学年発表会で学生相互および教員で評価. (学部共通必修科目, 約510名受講)

◎授業内容の明示

Webシラバスを活用(掲載率 学部:99.5%, 博士:70.5%)

基準8 教育の質保証

◎リフレクションペーパーを開示・情報共有

◎教育に関するFD実施(H29年度3回)

◎アンケート調査

就職先企業(コミュニケーション力向上, など)

◎「工学部多様な人材参画推進室」を設置(平成29年10月1日).